

1. 単元名 日本の諸地域 - 関東地方 -

2. 単元の目標

①知識・技能に関わる目標

- 関東地方の自然環境や東京大都市圏の特色や都市問題について理解する。
- 全国から人が流入し、ニュータウンが建設されたことを理解する。
- ニュータウンが現在抱える問題を理解する。

②思考力・判断力・表現力に関わる目標

- 関東地方の人口問題を多面的・多角的に課題を把握する。過密化の解消のためにつくられたニュータウンが、少子高齢化や、施設の老朽化などの問題を抱えている。首都東京には世界中から人が集まり、多様な人々がそれぞれの文化を持ち生活している。そうした人々と、どう共生していくのかを考える。

③主体的に学びに向かう態度に関わる目標

- 関東地方の課題を通して、自分たちの街の課題を見つけ、その解決に向けた方策を考える。

3. 単元について

①教材観

関東地方には人口が集中し、東京は政治・経済・文化の中心地となっている。東京は中枢管理機能を備えており、他の地方に比べて社会インフラが整備され利便性も持った都市であることを捉えさせたい。その中で、他の地方からの人口流入が多く、そこにすむ人々のコミュニティの弱さが、指摘されている。コミュニティの弱さが引き起こす問題が、過密都市東京において持続可能な開発にどのような影響を及ぼすのか、生徒自らに考えさせるとともにグループワークで共有し、深化させたい。本時では、高齢化したニュータウンの再生を取り上げる中で、世代間の公正を意識することができると考える。

②生徒観

本学級の生徒は、男女ともに積極的に発言することができ、意欲的に話し合うことができる。過密や関東地方の産業といった基礎的な知識は定着しており、様々な問いを深める下地ができています。

③指導観

住民の高齢化や、施設の老朽化、モータリゼーションへの対応、災害に対策など、多摩ニュータウンの課題を踏まえて、その再生を考えることにした。多摩ニュータウン地域再生ガイドラインは、2018年に東京都都市整備局によって策定されたものである。ガイドラインは2020年がゴールではなく、2040年、さらにその後と、これからも多摩ニュータウンが永続できるための「道しるべ」となっている。SDGsの11.7を実現し、様々な立場の人々が住み続けられるまちづくりを考えも取り入れて学ばせたい。

4. ESDとの関連

①学習を通して主に養いたいESDの視点

多様性：ニュータウンが作られたころから住んでいる高齢者と、入居を希望している若者、外国人などが入り交じりそれぞれ住環境に異なるニーズを持つことに気が付く。

有限性：50年以上前に開発が始まった多摩ニュータウン。街としても、建物としても老朽化が進んでいるが、街並みや街路樹などは、これからも価値あるものとして残っている。こうしたものを資産ととらえ、これからの世代にどう伝えていくかを考える。

連携性：住民や地方自治体、国などが連携しニュータウンを維持するためにどのように協力しているか、どんな協力が必要かを考える。

公平性：高齢者や子育て世代など様々なニーズを持った住民たちが、自分たちの住みやすさを追求しながらも、他者に配慮してどんな世代の人でも住みやすい街を維持していくかを考える。

責任性：ニュータウンという地域社会を維持するために、住民ひとりひとりができることを考える。

②学習を通して主に養いたいESDの資質・能力

・クリティカル・シンキング：新しいものがよいという価値観を打破し、ニュータウンの良さを残しながら都市再生計画を考える。

長期的思考力：20年後・40年後までニュータウンが維持され、住民のニーズにこたえ続けている計画になっているかを考える。

協働的問題解決力：生徒たちがニュータウン再生計画を考えるなかで、それぞれが、異なる視点で話合わせ、より良い解決策を見出していく。

③本学習で変容を促すESDの価値観

・世代間の公正

④達成が期待されるSDGs

目標9：インフラ

目標10：不平等解消

目標11：まちづくり

5. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①関東地方の自然環境や人口、産業の特色を捉え、その知識を身につけている。	①関東地方の地域的特色を、他地域との結びつきを柱とした考察をもとに、その過程や結果を適切に表現している。	①関東地方の人口問題について、住民の立場から課題解決策を提案することができる。

6. 単元展開の概要

○指導計画（全5時間、本時は第2次）

第1次（1時間） ○多くの人が集まる首都、東京

第2次（2時間） ○交通網の整備と商工業の発達

○多摩ニュータウンから見る東京の課題(本時)

第3次（1時間） ○開かれた世界都市 TOKYO

第4次（1時間） ○きみも都市プランナーになろう

7. 学習展開過程

主な学習活動	学習への支援	◇ESDの視点 OESDの資質能力	◇評価 ○備考
1. 多摩ニュータウンの写真を見せる	○この街がいつ頃開発されたのか考える。	○クリティカル・シンキング ◇多様性・有限性	
発問：多摩ニュータウンのできた頃と現在を比較して日本の課題を考えよう。			
2. 多摩ニュータウン開発の経緯や、多摩ニュータウンの現在の問題について確認する ○ニュータウンの課題から、東京の課題を確認する。 ○仮説を立て、調べてまとめる。	○東京オリンピックの頃の高度成長期で、乱開発を防ぎ、当時の理想をもとに街作りが行われたことに触れる。 ・多摩ニュータウンはどんな理想のもとに街作りが行われたのか、考えよう。 ○ニュータウンの過去と現在の違いを話し合う。 ○過密状態の東京で起きている、コミュニティの低下とはどのようなものか、考える。	○コミュニケーション力 ○システムズ・シンキング	◇協力して調査する ◇調査内容を関連付けてまとめる ○パワーポイント
3. ○解決策をまとめ発表する	○グループで話し合う。	○長期的思考力 ○コミュニケーション力	◇事実やデータに即した話し合いをする。
4. ワークシートを記入する	理由を明らかにしながら自分の言葉でまとめさせる	○システムズ・シンキング ○協働的問題解決力 ◇連携性・責任性	◇協力して取り組む ◇リーダーシップを発揮する。

8. 成果と課題

多摩ニュータウンの再生計画を立てた後に、アンケートをとると、高齢化や求められる都市機能の変化などの問題を解決しなければいけないという意識が明確になっていた。また、ニュータウンで起きている問題が、奈良でもおきているのではないかと気づく生徒もいた。しかし、町の再生計画というスケールの大きい話しであるが故に、自分事のできない生徒もまだまだいたことは課題である。

多摩ニュータウンの課題

・ニュータウンとは…高度経済成長期に大都市の（ ）を解消するために開発された都市。多摩ニュータウン（東京）や千里ニュータウン（大阪）が有名。」

Q1. 写真を見て、ニュータウンのイメージしてみよう。」

当時の人々の理想の都市とはどのようなものだろうか？」

Q2. モータリゼーションが日本に与えた影響を考えよう。」

※モータリゼーション…自動車急速に普及し、生活に不可欠になること。」

Q3. 現在のニュータウンの課題を若い子育て世代目線と高齢者目線から考えよう。」

4. ニュータウン再生に必要な取り組みとは何だろうか？」

☆今日の授業の感想を書きましょう。」

1年()組 ()番 名前 _____